



WEEKLY REPORT ROTARYCLUB OF hakusanishikawa

ガバナー方針:「ロータリー」の魅力を広めよう
クラブ基本方針:活動を通じて、ロータリーを楽しもう

白山石川ロータリークラブ

2023年7月27日 No. 1007

会長: 藤本 和久 幹事: 本島 大昌 公共イメージ委員長: 小路 昌弘
クラブ会報委員長: 山根 純子 副委員長: 小村 克俊 委員: 多田 茂, 埴岡 正稔, 米島 學, 新田 真希
事務局/ 白山市西新町 159-2 松任産業会館 4 階 TEL076-274-2907 FAX076-274-2908

Mail:info@hakusanishikawa-rc.jp HP://www.hakusanishikawa-rc.jp

◆会長挨拶

(藤本和久会長)

皆さん、こんばんは。今日は原勉ガバナー、畠善昭ガバナー補佐、宮本哲一地区幹事の皆さんと懇談会を開催し、いろいろなお助言をいただきありがとうございました。今後のクラブ活動に生かしていきたいと思えます。原ガバナーには後程、卓話をお願い致します。7月25日に派遣交換留学生の北山一樹君が1年ぶりにアメリカから元気に戻ってきました。出迎えに行かれた皆様、ありがとうございました。

7月21日に北陸地方も梅雨明けし、連日暑い日が続いています。皆さん、こまめに水分・塩分を摂取して熱中症の発生を防ぎましょう。本日も宜しくお祈りします。

◆お客様の紹介

- ・国際ロータリー第2610地区 ガバナー 原 勉 様 (白山 RC)
- ・石川第一グループBガバナー補佐 畠 善昭 様 (金沢北 RC)
- ・地区幹事 宮本 哲一 様 (白山 RC)



◆幹事報告

(本島大昌幹事)

- ・7/21 ガバナー・ガバナーエレクト合同事務所より 2023-24 年度地区 RLI 委員会委員ご就任のお願い文が届く。地区 RLI 委員会委員 多田 茂君
- ・7/26 地区国際青少年交換委員会副委員長 山岸晋作より受入交換



留学生の到着と出迎えについてお願い文が届く。Rowan 君の来日日程が届く。

1. 交換学生氏名 : Rowan LAIDLAW
2. 到着日時 : 2023 年 8 月 23 日 (水) 小松空港着 18 時 05 分 (ANA NH755 便)

◆委員会報告

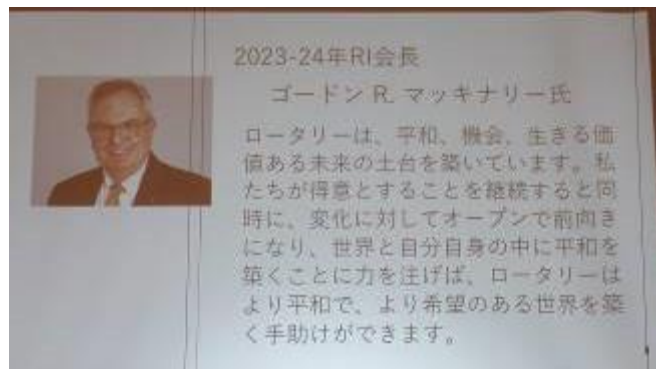
織部資子会長エレクトより7月22日開催の第1回クラブ会員増強委員長会議の報告があった



◆プログラム

演 題 『ロータリーの魅力』

国際ロータリー第2610地区 ガバナー 原 勉 氏



◆出席報告

(山本 剛嗣委員長)

- 出席率：71.79%
- 出席者：39名 /27名
- 出席補填：1名
- 出席免除者：なし
- メーキャップ：2名

7/22 第1回クラブ会員増強委員長会議：

西川 隆司、織部 資子



◆ニコニコBOXの発表

(横川 賢悟委員長)

国際ロータリー第2610地区 ガバナー
原 勉様

公式訪問に参りました。宜しくお願い
申し上げます。

石川第一グループBガバナー補佐

畠 善昭様

7月13日の例会では私の拙い話をお聞き下さいまして感謝。

地区幹事 宮本 哲一様

公式訪問に参りました。宜しくお願い申し上げます。

藤本 和久 会長

2610地区ガバナー 原勉様、石川第一グループBガバナー補佐 畠善昭様、地区幹事 宮本哲一様、本日はお越し下さり、ありがとうございます。また、原勉ガバナー様には卓話ありがとうございました。

本島 大昌 幹事

原ガバナー、畠ガバナー補佐、宮本幹事、本日はご来訪ありがとうございます。会員の皆様、ご出席ありがとうございます。

池元 ことみ

第2610地区 ガバナー 原勉様、石川第一グループBガバナー補佐 畠様、地区幹事 宮本様、今日はようこそありがとうございます。一昨日は、孫の北山一樹が一年間の留学を終え、無事帰ってきました。お出迎え頂きました会員の皆様、ありがとうございました。

野澤 誠治

原ガバナー、本日はありがとうございます。

畠ガバナー補佐、宮本地区幹事、ありがとうございます。

武藤 一彦

暑い日が続きますが、体調はいかがですか。熱中症で死亡者も出ています。暑い日のゴルフにはお気を付けてください。

今日は、おやこの広場あさがおでの赤ちゃん相談会でしたが、皆さん元気でした。家にいるよりも涼しくていいのかもしれない。

『世界に希望を生み出そう』全くその通りですね。

織部 資子

原ガバナー、畠ガバナー補佐、宮本地区幹事の皆様、今日はようこそありがとうございます。

7月に入り、ノルウェーから知人が来日して日本の各地を訪れ、夏のバカンスを満喫しています。私も家族で会食したり、浴衣の着付け、お茶のお手前などで楽しいひと時でした。一ヶ月程の夏休み、羨ましい限りです。

世界のローターアクトは今

ウクライナ難民支援： 欧州のローターアクトが結集

2022年2月下旬、ロシアによるウクライナ侵攻が始まり、イリーナ・ブシュミナさんは数時間のうちに、キエフの自宅から逃げ出しました。姉と生後3カ月の甥とともにオーストリアのウィーンに向かい、途中、ロータリー会員の家に身を寄せました。Kyiv City ローターアクトクラブの会員で、ウクライナの地区ローターアクト代表を務めるブシュミナさんは、支援を受けたことをきっかけに、より大規模な救援活動を行うことを決意しました。現在、彼女が作成したオンライン・プラットフォームを通じて、数千人のウクライナ難民のためのシェルターを見つけることができるようになっています。欧州各地で、ローターアクト会員がデジタルツールを使って情報を共有し、ウクライナの戦争で被災した人びとを支援するために連携しています。世界40カ国以上のクラブが加盟する欧州のローターアクト多地区合同情報組織を通じてグローバルネットワークを活用し、被災地のニーズに合った支援を行ってきました。戦争開始から間もなく、Rotaract Europe 会長であるクリスティアン・ライトナーさん (Linz ローターアクトクラブ会員) は、ウクライナの人びとを支援するプロジェクトが既に実施されていることを知りました。オーストリアのKlagenfurt-Wörthersee ローターアクトクラブが中心となり、Rotaract Europe のウェブサイトから情報を集め、5台のバンと車に救援物資を積み込み、夜通しポーランドとウクライナの国境に届けていたのです。また、現地の地元のローターアクトクラブが救援物資を配布していました。「ロータリーのネットワークがいかに早く物事を実現できるかを実感した」とライトナーさん。侵攻開始から1週間以内に始まった何十ものローターアクトの活動が行われていることを知り、ローターアクトクラブとロータリークラブ、地区間のコミュニケーションを調整し、協力関係を促進する上で、ローターアクトが重要な役割を果たすと実感しました。また、Rotaract Europe では、難民やボランティアのための情報を「United for Peace」(平和のための団結) というウェブページにまとめています。ブシュミナさんは、「Spaces for Ukraine」という宿泊場所探しに特化したプラットフォームを立ち上げるため、このページに情報を掲載し、難民とホストファミリーを結び付けるためのフォームを作成しました。このページでは、近隣諸国のプロジェクトに関する最新情報、難民が利用できる無料の鉄道、バス、航空輸送に関する情報、国境で人びとを助けるための情報を提供しています。また、必要な物資のリストや寄付・寄贈の方法も紹介されています。ライトナーさんは次のように話します。「ローターアクトクラブは、(このウェブページから)ウクライナや周辺地域で何が起きているかを把握し、どのようなプロジェクトを実施できるかを決めることができます。ロータリー会員によるつながりの構築と協力を促進する力になりたいと感じています」ライトナーさんやRotaract Europe のほかのリーダーたちは、欧州各国のローターアクト代表と毎週 Zoom 会議を開き、アイデア交換やプロジェクトの最新情報の共有を行っています。このような会合が、より良いコミュニケーションと連携に役立っているとライトナーさんは話します。1988年にクラブの連合体として発足して以来、Rotaract Europe は、国境を越えてローターアクト活動に関する情報を共有することに重点を置いてきました。しかし、ウクライナの人びとへの支援はこれまでとは異なると、ライトナーさんは述べます。「これまでよりもずっと積極的に取り組んでおり、ローターアクトの情熱とエネルギーが、私たちのモチベーションを高めてくれています」

By Ryan Hyland

本日合計 17,000円 今年度累計 77,000円